

# 子ども音楽新聞

CHILDREN'S MUSIC NEWSPAPER

2017年4月 第25刊



400年以上世界中で楽しまれてきたオペラ。  
その人気の理由を探っていきます!



# オペラ

特集号



# オペラってなんだろう？



**オペラってなに？** この質問にひとことで答えるなら、「歌を中心としたお芝居」とでも言いましょうか。ストーリーがあって、衣装もつけて演技もあるのですが、主役は音楽。登場人物たちは歌いながら劇を進めます。伴奏を務めるのはオーケストラ。オーケストラ・ピットと呼ばれる舞台下の空間に入って演奏します。

オペラは大がかりな出し物です。上演には大勢の人たちがかかわります。どんな人がいるのか、挙げてみましょう。まずは**歌手**。役柄ごとに、その役に合った声を持つ歌手が必要です。主だった役のほかに、群衆役で**合唱**が必要になることもあります。それから、**指揮者**と**オーケストラ**。指揮者は歌手とオーケストラをリードして、音楽面全体について責任を持ちます。

客席から見えるのはここまでですが、これは上演にたずさわる人々の**ほんの一部**。舞台全体を監督する演出家、指揮者の補佐をする副指揮者、合唱指揮者、衣装デザイナー、舞台美術家(舞台や道具、衣裳を作る人)、照明デザイナー、メイク、

舞台監督、字幕を作る人、出演者のスケジュールを調整する人等々。客席から見えない場所で歌手に向かって次のセリフの出だしを教えるプロンプターという役割もあります。次のページのイラストのどこにいるか、ぜひ探してみてください。通常のオーケストラのコンサートと比べても、ずっと**たくさんの人**が必要ですし、リハーサルにも多くの時間がとられます。

これだけ大がかりな出し物をわざわざ上演するという事は、裏を返せばそれだけ**人気が高い**ということ。クラシック音楽の歴史をふりかえってみても、作曲家が成功を収めるためには、**オペラを書いてヒットさせる**のがいちばんの早道でした。交響曲やピアノ曲も大切なのですが、なんと**いって**も人気が高いのは**オペラ**。人々は劇場に通い、美しくドラマティックな音楽に身を浸しながら、喜劇に笑い、悲劇に泣いてきたのです。

オペラはハリウッド映画が誕生する以前の**最大のスペクタクル**。そんな言い方もできるでしょう。もちろん、現代でもその魅力は色あせていません。

Q. オペラとミュージカルの歌い方はどう違うの？

A. ミュージカルはオペラの一部とも言え、歌を中心としたお芝居という意味ではどちらもよく似ていますが、オペラの場合、歌手はマイクを使わずに生の声を聴かせるのが基本。大編成のオーケストラに負けないように美しい声を響かせなければならぬので、発声法も違ってきます。

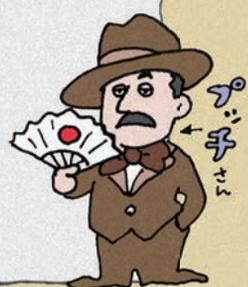
Q. オペラは何語で歌うの？

A. あらゆる言語が使われますが、オペラの世界でいちばん多く用いられるのはイタリア語とドイツ語。イタリア語で書かれたオペラはイタリア語で歌うのが原則です。ときには日本語に翻訳して歌うことも。外国語で上演される場合は、字幕が付くのが一般的です。

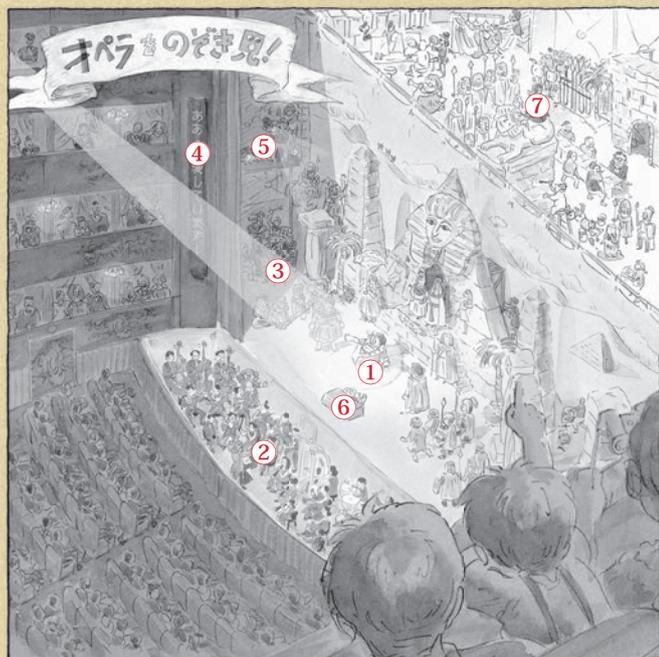
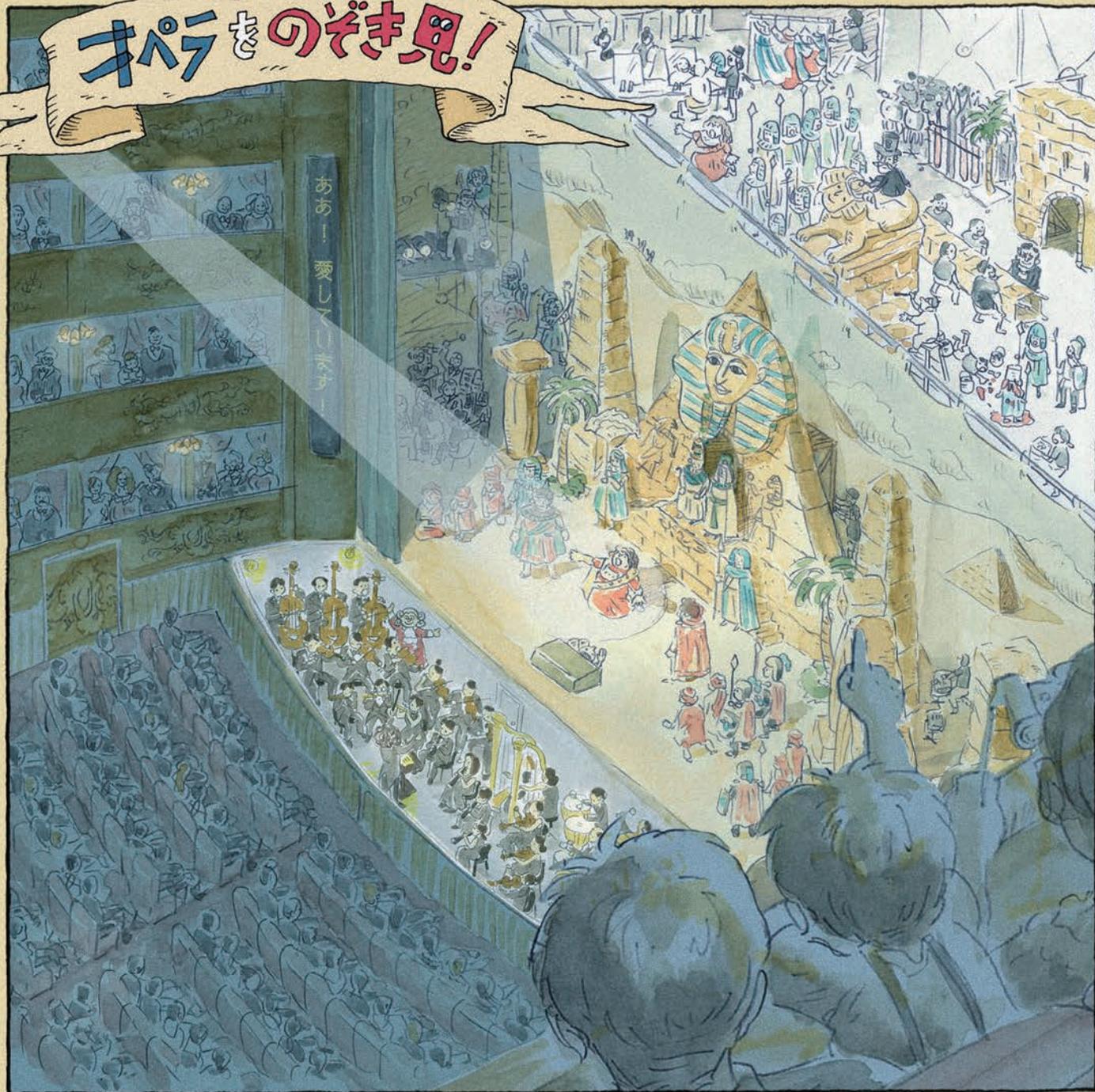
## ちょっと変わったオペラ

オペラのストーリーはさまざま。歴史上の人物や事件、文学作品やおとぎ話などがよくオペラ化されます。しかし、なかには一風変わったオペラも。ワーグナーの四部作「ニーベルングの指環」は北欧神話を借りたオリジナルのストーリー。神々と人間、剣と魔法の世界が描かれ、まるでファンタジー小説のよう。プッチーニの「蝶々夫人」は

明治時代の長崎が舞台。西洋から見たエキゾチックな日本が描かれます。人間以外が主役を務めるのはヤナーチェクの「利口な女狐の物語」。主役はキツネです。時代設定の古さではヴェルディの「アイダ」。舞台は古代エジプト。紀元前のラストストーリーって、ロマンをかきたてますよね。



# オペラをのぞき見!



- ① 歌手  
しきしや
- ② 指揮者・オーケストラ  
しきしや
- ③ 副指揮者  
しきしや
- ④ 字幕  
しまく
- ⑤ 照明技師 / デザイナー
- ⑥ プロンプター
- など

## ⑦ ぶたいうら 舞台裏

いしろう  
衣装デザイナー  
ぶたいびじゅつか  
舞台美術家

メイク  
ぶたいかんとく  
舞台監督

など



CHECK♪



## 実際にオペラの曲を聴いてみよう!

オペラに興味は湧いたけど、でもまだ気軽には行きにくいなあ…? 内容が難しそう…? 分かりやすいおはなしがあって、最先端の映像演出を楽しめる、10代の子どものためのコンサートが開催されるよ!

Bunkamura × Sony Music Foundation

10代のための  
プレミアム・コンサート  
10代  
Premium Concerts  
for Teens

## はじめての演奏会オペラ～イタリア・オペラ編～



©上野隆文

2017年9月9日(土) 15:30 開演  
Bunkamura オーチャードホール  
(東京都渋谷区)

### 【出演】

指揮・おはなし・演出: アンドレア・バッティストーニ

管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団

ソプラノ: 木下美穂子 / テノール: 村上敏明 / バリトン: 上江隼人

映像演出とお話: 真鍋大度 (ライゾマティクスリサーチ)

ナビゲーター: 朝岡 聡

### 【演奏曲目】

ヴェルディ: オペラ『オテロ』よりハイライト (\*演奏会形式)

プッチーニ: オペラ『トゥーランドット』より「誰も寝てはならぬ」

ヴェルディ: オペラ『椿姫』より「乾杯の歌」

ほか

\*演奏会形式: 通常のオペラ公演とは違って、舞台上にオーケストラがのっていて、その前で歌手がオペラの曲を歌う公演。最近特に日本では人気のあるかたちで、多くの演奏会形式コンサートが上演されています。

ソニー音楽財団

検索

## 初めての人には他にもこんなオペラ作品がオススメ!

モーツァルト作曲『魔笛』: 子どもから大人まで楽しめる冒険ファンタジーオペラ

フンパーディング作曲『ヘンゼルとグレーテル』: 有名なグリム童話が原作のオペラ作品

ラヴェル作曲『子どもと魔法』: 子どもが主役の、バレエと融合した幻想的なオペラ



## オペラがキミがすき♪

